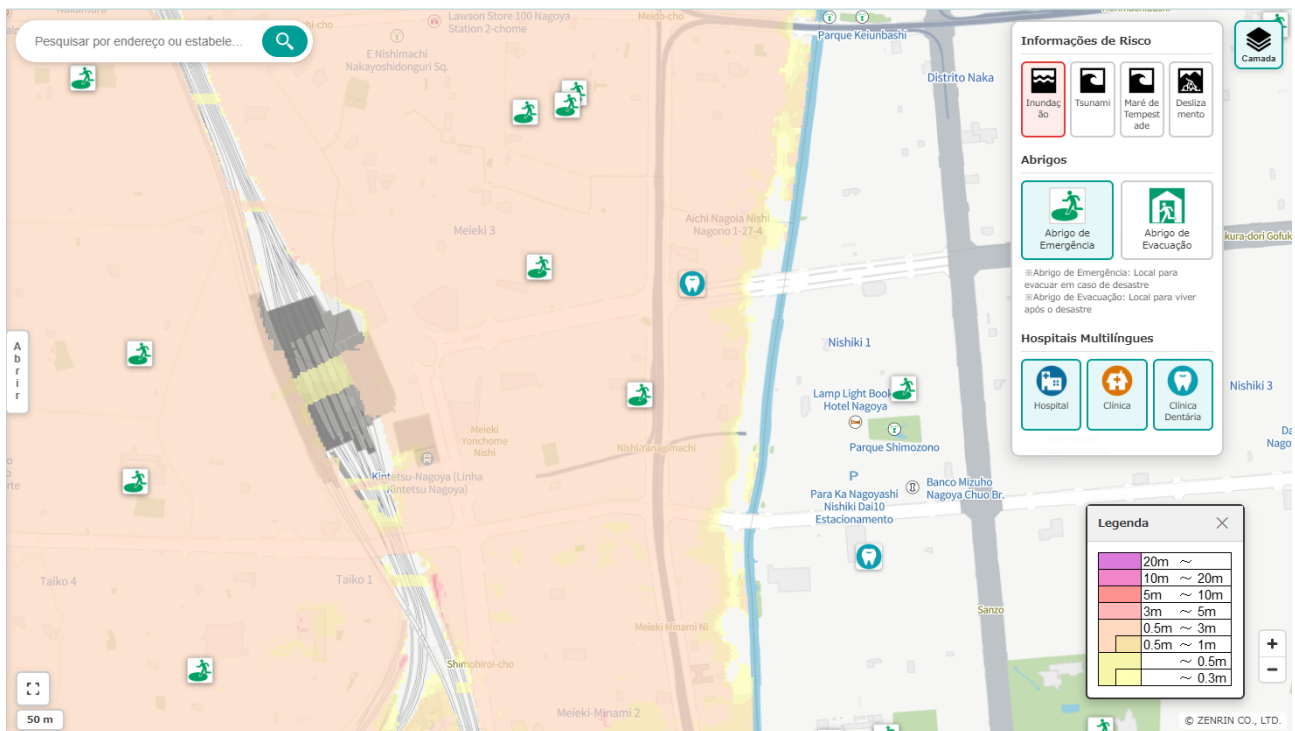


在住外国人向け Web ハザードマップの実証を開始 ～生成 AI 自動翻訳を活用した多言語地図を公開、ニーズや利便性を検証～

株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:竹川道郎、以下ゼンリン)は、株式会社CBCテレビ(以下、CBCテレビ)と連携し、CBCテレビが運営する在住外国人に向けた Web サイト「Explore Nagoya (エクスプロア ナゴヤ)」の防災ページにおいて Web ハザードマップの公開及び運用実証を6月9日(火)から開始しました。

本サイトは生成 AI による自動翻訳技術を活用し、英語、韓国語、中国語(繁体)、ポルトガル語の4言語に対応しています。



地図画面イメージ(ポルトガル語)

■取り組みの背景

愛知県をはじめ東海地方には世界的な企業で働く多くの外国人の方々が在住しています。近年、自然災害への備えとして防災・減災情報へのニーズが高まっている一方で、在住外国人の方々が必要な情報を母国語で得ることが難しいといった課題がありました。

このような状況を受け、全国の詳細な地図情報を保有するゼンリンと、多言語情報サイト「Explore Nagoya」を運営するCBCテレビは、多言語 Web ハザードマップの実証運用を開始しました。両社のアセットを掛け合わせることで、在住外国人の方々へ実効性の高い防災情報を母国語で提供します。

■各社役割

ゼンリン	生成 AI 自動翻訳機能を活用した Web ハザードマップの開発、運用
CBCテレビ	在住外国人向け Web サイト「Explore Nagoya」の企画運営

■生成 AI による自動翻訳の仕組みについて

ハザードマップ上の各種情報をゼンリンの時空間データベースから API を介し取得し、生成 AI を用いてユーザーの選択した言語へ動的に翻訳した上で、地図上に表示します。

これにより、従来のように多言語データベースを予め用意する必要がなくなり、あらゆる言語に、迅速かつ柔軟に対応可能になりました。



※ゼンリンの時空間データベース

道路や建物、信号機といった目に見えるものから、行政界、地名といった目に見えないものまで、実世界に存在するものすべてに名前(種別)を与えて表現したゼンリン独自のデータベース。

■実証概要

提供サイト	Explore Nagoya (https://explore-nagoya.jp/)
公開日	2026年6月9日(火)
対応言語	英語、中国語(繁体)、韓国語、ポルトガル語
提供コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザード情報(洪水、津波、高潮、土砂災害) ・避難所(指定緊急避難所、指定避難所) ・多言語対応病院(病院、診療所、歯科診療所)
提供機能	住所検索、施設検索、ルート検索機能、上記コンテンツ重畳機能
実証期間	2026年6月9日～2027年3月31日迄
検証内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザード情報や有事の際の情報に対する在住外国人のニーズや利用実態の確認 ・生成 AI を活用した地図情報の翻訳の精度およびユーザビリティの確認

<Explore Nagoya について>

「Explore Nagoya」は、全国有数の外国人集住地域である東海地方において、地域に暮らす外国人や海外からの訪問者に向けてCBCテレビが開設した多言語情報サイトです。独自に開発した生成 AI 搭載の CMS(コンテンツ管理システム)を活用し、テレビ番組由来の日常的な地域情報(観光・おでかけ・グルメなど)や、ニュース、天気、防災情報などを、英語、韓国語、中国語(繁体)、ポルトガル語の 4 言語へ即時に翻訳して発信。外国人住民の方々が平時から触れる日常的な地域情報と、有事に必要な防災情報とをシームレスに提供することで、地域メディアとして安全・安心な暮らしをサポートしています。

■今後の展望

今後は、CBCテレビと本取り組みを通じて多言語地図と多言語コンテンツを活用したビジネスを検討していきます。また、ゼンリンは今回の実証を通して、ハザード情報や有事の際の情報に対する在住外国人のニーズや利用実態の把握を行うとともに、AI技術などの活用により、多言語地図を迅速かつ手軽に導入できる環境の構築を目指します。本取り組みをモデルケースとし、得られた知見をもとに機能拡張やサービス範囲の拡大を進め、他地域・他団体への展開も視野に入れて取り組みを推進していきます。